

(1)社会科における昨年度の改善プランの検証

観点	検証
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級に配布されている新聞やインターネットの情報などの活用をICT機器の整備により効果的に行うことができた。 ・ 話し合い活動などの主体的な学習活動を充実させる工夫を重ね、学習への意欲を喚起することができたが、基礎的な学習内容の確認の時間をもう少し確保したかった。 ・ 学習への取り組み方の指示の工夫や、評価について丁寧に説明することなどで、意欲を高めることができた。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合い活動・学び合い活動などの場面を通して、自分なりの意見や考えなどをもち、それを適切に表現できるスキルを育成することができたが、年間計画の中での時間配分が課題である。 ・ 異なる考えや意見をふまえて思考しようとする深い学びにつながる姿勢をもたせるように指導の工夫を行ったことで効果をあげることができたが、指導にかかる時間が長くなってしまふことが課題である。Q-Uの調査結果の活用は効果的であった。 ・ 思考力や表現力を高めるための取り組みを行う時間を確保するため、基礎的・基本的な内容を効率よく定着させる指導の工夫を行ったが、課題が残った。
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット上の情報や図書資料を活用することが、ICT機器の整備により手軽に行えるようになり効果を上げることができた。 ・ 地図や統計資料などを読み取るスキルを身に付ける学習場面の設定を心がけたが、資料の読み取りに慣れてきた。ICT機器の活用も資料の提示や比較に効果的であった。 ・ 社会的事象の多角的・多面的な理解を深めるために電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を活用することができた。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復習プリントやフォローアップワークシートなどの反復学習は、今後も継続していきたい。 ・ 授業の中で、内容と関連のある他の分野での学習内容や既習事項についてふれ、知識の定着状況を確認した。 ・ プリント教材の工夫などで、学習活動への意欲をもたせることができた。

(2)社会科の今回の学習効果測定等における分析(内容別・観点別)

内容項目	分析
地理的分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は、わが国の農業や水産業、及び工業に関する内容の理解に課題があるが、それ以外の内容はほぼ目標を達成している。 ・ 2年生は概ね目標値を上回る結果であったが、世界の諸地域の内容で目標に届いていない項目が見受けられた。 ・ 3年生は全体的には目標値を下回っている。日本の地域構成に関する知識・理解、気候などの日本の自然環境の問題の考察に課題があった。記述を求められる問題では成果を上げた。
歴史的分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は概ね目標値を上回っているが、古代史に関する知識や資料の読み取りなどに課題が見られた。 ・ 2年生は全体として目標値を上回ったが、飛鳥時代から平安時代の学習内容に課題が見られた。 ・ 3年生は大きく目標値を下回ってしまった。江戸時代(近世の日本)と明治時代(近代の日本と世界の単元において目標値を大幅に下回った。また文化史の問題についてはテーマ史として扱う計画で未習事項であったため、正答率が低かった。

観点	分析
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は目標値をわずかに下回った。 ・ 2年生は目標値を6ポイント上回った。 ・ 3年生は目標値を上回った。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は目標値を上回った。 ・ 2年生は目標値を7ポイント上回った。 ・ 3年生は目標値を上回ったが、問題の内容によって出来、不出来の差があった。
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は目標値をわずかに下回った。 ・ 2年生は目標値をわずかに上回った。 ・ 3年生は目標値を下回ったが、問題の内容によって出来、不出来の差があった。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生は目標値をわずかに下回った。 ・ 2年生は目標値を3ポイント上回った。 ・ 3年生は目標値を下回った。特に近世・近代の歴史についての知識・理解には課題が残る。

(3)社会科の学習効果測定等における課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な学習事項の着実な定着。学習してから時間が経っている内容のさらなる確認が必要。 ・ 活用力がついてきた反面、基礎的・基本的な知識の定着にむらが見られる。 ・ 3学年においては、進度の遅れによる未習事項の補填が必要である。

(4)社会科の具体的授業改善策

観点	具体的な授業改善策
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学級に配布されている新聞やインターネットの情報などを適切に活用し、社会的な事象と学習内容を結びつけて、興味・関心を高める。 ・話し合い活動などの主体的な学習活動を充実させる工夫を重ね、学習への意欲を喚起する。 ・学習への取り組み方の指示の工夫や、評価について丁寧に説明することなどで、意欲を高める。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動・学び合い活動などの場面を通して、自分なりの意見や考えなどをもち、それを適切に表現できるスキルを育成^{させる}。 ・発問の工夫で複数の視点から考えや意見をもつことができるように指導する。話し合い活動等の指導にあたっては、引き続きQ-Uの調査結果なども参考にして、個に応じた支援を行う。 ・思考力や表現力を高める取り組みに必要な時間を確保するため、基礎的基本的な内容を効率よく定着させる指導の工夫を行う。
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やタブレットPCなどのICT機器、図書資料などを適切に活用し、学習に必要な情報を吟味して取り出し、活用を図っていくスキルを高める指導を行う。 ・地図や統計資料、年表などを読み取るスキルを身に付ける学習場面を適切に設定する。その上でICT機器も活用しながら複数の資料を読み取って考察したり、他の学習内容と結びつけていく取り組みを授業の中に盛り込む。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・復習プリントやフォローアップワークシートのほかICT機器も活用し、反復学習を行って、生徒一人一人の着実な知識・理解の定着を図る。 ・授業の中で、内容と関連のある他の分野での学習内容や既習事項についてふれる機会を多く設定する。 ・興味をもって取り組めるワークシート教材などの作成に工夫を重ね、知識や理解を深める学習活動への意欲をもたせるようにする。

内容項目	具体的な授業改善策
地理的分野 (1,2学年)	<ul style="list-style-type: none"> ・対話的な学習機会を計画的に設定し、主体的に考え、表現する機会を増やしていく。話し合いや学び合いの活動を通して、深く学習する姿勢を広げていく。 ・電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を適切に活用して資料を提示するなどして、学習内容のより確かな定着をはかる。 ・学習効果測定で理解に不足がみられる内容〔(2)参照〕について、繰り返し振り返り学習をする機会を設ける。
歴史的分野 (1,2,3学年)	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材や実物教材等の活用を一層推進し、興味関心を喚起して、主体的な学習態度を育成する。基礎事項を、電子黒板やタブレットPCなどのICT機器も適切に活用して確実に理解させるようにする。 ・身近な地域の歴史も扱うことによって、関心・意欲を高める学習を行う。(副教材『のびゆく大田区』の活用をすすめるなど) ・学習効果測定で理解に不足がみられる内容〔(2)参照〕について、振り返り学習をする機会を設ける。
公民的分野 (3学年)	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に根ざした話題や資料を活用することで、より深く学習する姿勢をもたせる。(「租税教室」など) ・「効率と公正」に基づく判断力を育成する指導の中などで、異なる考え方の資料を適切に提示し、多面的に自己の思考を深めさせる工夫をする。 ・地理・歴史の既習事項の復習及び深化を図る学習活動を、できるだけ多く計画的に設定する。

学年	具体的な授業改善策
1学年	* 上記の分野別改善策を参照ください。(地理的分野・歴史的分野)
2学年	* 上記の分野別改善策を参照ください。(地理的分野・歴史的分野)
3学年	* 上記の分野別改善策を参照ください。(公民的分野)